



# 釧路あすなろクラブ会報

2024年 6月号

## 令和6年度年間テーマ 『往古来今』

過去から現在、未来に延々と続く時間と空間の流れ

### 令和6年6月【部会担当例会】

開催日時：令和6年6月13日(木曜日)  
 開催場所：釧路センチュリーキャッスルホテル(1階海の間)  
 出席者：第一部会7名 第二部会7名 第三部会7名 第四部会8名  
 合計出席者：29名(全47名) 出席率 61、7%

### 会長挨拶

皆様、こんばんは。本日会場入りする際外を歩いて来ますと、こんばんはと言う明るさではなくこんにちはでも良いのかと思うくらいのも明るさでした。ようやく釧路の気温も上がってきて夏に少しずつ近づいてきたのかなと思いました。さて本日は、第三部会の部会担当例会となっております。経済研修団体でありますあすなろクラブがどういった事をしてきたのか、どういった目標をもってきたのかを聞きたくて皆さんにいろいろ調べて頂き発表して頂こうと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



### 例会内容

担当部会：第三部会  
 タイトル：# 釧路あすなろクラブの歴史、釧路市経済の歩み  
 『その時、歴史は動いた』

内容：設立から20年・5年毎に発表、昭和37年～41年が上原会員、昭和42年～46年が菊地会員、昭和47年～51年が前田会員、昭和52年～57年が谷口会員の進行、発表となりました。あすなろの木にちなんであすなろクラブと命名されました。当時の例会内容としては福司酒造視察、自衛隊1日体験、旧拓殖銀行鳥取支店支店長の外部講師研修会、旧富士銀行支店長代理の外部講師研修会が行われた。家族を招待しての盛大なクリスマス例会。管外研修では旭川、中標津、池田、浜中、網走を視察した。釧路の経済面では第二次オイルショック、200海里経済水域設定と厳しい経済状況が見受けられた。高度経済成長の終焉から日本経済の安定期に入る。56名での20周年式典の開催。釧路市の人口が218,000人とピークを迎えそこから下降線をたどることとなる。釧路市の産業構造に変化が起きるターニングポイントではないか。#

#

#



中島康秀会員挨拶#

